

血糖コントロールに係る薬剤投与関連

区分別科目



(A) インスリンの投与量の調整

病態に応じたインスリン製剤の調整の判断基準 (1) (ペーパーシミュレーションを含む)

国際医療福祉大学市川病院 教授

野見山 崇 氏

演習

病態に応じたインスリン 製剤の調整の判断基準 1

国際医療福祉大学市川病院 教授
野見山 崇

本日の内容

目標

- ・ 責任インスリンを理解し、インスリン製剤の調整ができる

内容

- ・ 症例提示を行い、各施設で作成した手順書に基づいてインスリン製剤の調整を行う

インスリン製剤の調整の判断基準例

手順書: インスリンの投与量の調整

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

インスリン製剤を既に使用中の1型または2型糖尿病患者で、自覚症状、他覚所見、かつ検査結果から低血糖または高血糖の状態にあると考えられる患者

* 自律神経障害で無自覚性低血糖のある人は除く。

* 極度に痩せている患者や体格の小さな高齢者も注意が必要である。



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

□ バイタルサインが安定している

□ 重度の高血糖によると思われる症状が存在しない(意識障害、不穏、強い倦怠感、口渇、多飲、多尿など)

□ 重度の低血糖によると思われる症状が存在しない(意識障害、不穏など)

□ 高血糖や低血糖が、感染症、悪性疾患など他の重大な疾患による二次的なものではない

→ どれか一項目でも該当しないものあれば、担当医に連絡

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり



担当医師に直接
連絡し、指示
をもらう

病状の
範囲内



安定
緊急性なし

インスリン製剤の調整の判断基準例

【診療の補助の内容】

インスリンの投与量の調整



【特定行為を行うときに確認すべき事項】

・変更後の投与量を、直ちに投与した場合

□ 意識状態、バイタルサインの変化なし

□ 注射部位の皮膚に異常がない

□ 食事摂取量の低下(特に食前のインスリンを増量した場合)

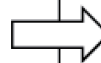
1つでもあれば、医師に連絡

・次回からの投与量の調整を行い、その場では投与を行わなかった場合

□ 低血糖発作と思われる症状が出現した場合の対処法の指導

□ 生活を含めたアセスメントの実施や生活指導

□ 次回の血糖値の評価時期の決定と診療記録への明記



担当医師に直接
連絡し、指示
をもらう



【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】

担当医師



【特定行為を行った後の医師・歯科医師に対する報告の方法】

1. 担当医師の携帯電話に直接連絡

2. 今後の血糖値の評価時期等を含めた、診療記録への記載

問題1 強化インスリン療法 中のインスリン調整

症例:65歳 男性 2型糖尿病 BMI 23kg/m²

40歳のころから健診で高血糖を指摘されていたが放置していた。
45歳の時、HbA1c8.0%となり妻の強い勧めで糖尿病外来を受診し
ダオニール[®](スルホニル尿素薬)による治療が開始された
HbA1cは徐々に低下し、コントロール良好であったが、2年前より
再度悪化したため、入院し血糖コントロールとなった。

来院時検査所見:HbA1c 8.2%, 空腹時血糖 155mg/dL, 血清Cペ
プチド 0.7ng/mL, 肝機能・腎機能に異常なし

合併症:単純性網膜症、腎症第2期、神経障害なし

問題1 強化インスリン療法 中のインスリン調整

入院後、経口血糖降下薬(ダオニール[®])を中止し、強化インス
リン療法を開始した。

現在、ヒューマログ[®]を朝食直前10単位、昼食直前6単位、夕食
直前8単位に加え、ランタスXR[®]を眠前に4単位注射している。
最近3日間の血糖の推移は下記のとおりである。

	朝食前	朝食後	昼食前	昼食後	夕食前	夕食後	眠前
①	156		178		160		190
②	160		180		164		200
③	162		178		162		220

問題2

入院後、経口血糖降下薬(ダオニール[®])を中止し、強化インスリン療法を開始した。

現在、ヒューマログ[®]を朝食直前6単位、昼食直前4単位、夕食直前2単位に加え、ランタスXR[®]を眠前に8単位注射している。

最近3日間の血糖の推移は下記のとおりである。

	朝食前	朝食後	昼食前	昼食後	夕食前	夕食後	眠前
①	172		130		120		200
②	180		150		130		196
③	178		160		128		220

問題3

入院後、経口血糖降下薬(ダオニール[®])を中止し、強化インスリン療法を開始した。

現在、ヒューマログ[®]を朝食直前10単位、昼食直前2単位、夕食直前6単位に加え、ランタスXR[®]を眠前に10単位注射している。

最近3日間の血糖の推移は下記のとおりである。

	朝食前	朝食後	昼食前	昼食後	夕食前	夕食後	眠前
①	130		128		160		182
②	126		124		170		196
③	128		122		180		220